

## 建設業 42企業（回答率 100.00%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-19.0	0.0	4.8	-30.9
売上額	-7.1	26.2	2.3	-42.9
収益	-7.1	7.2	-21.4	-40.5

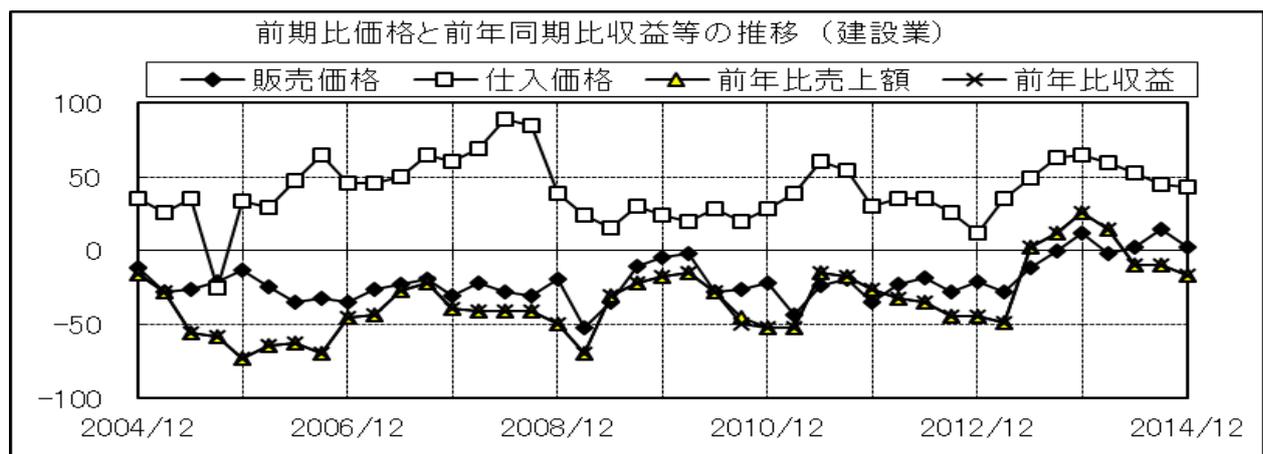
今期の業況判断DIは4.8と、前期ゼロ水準から上昇した。地区別DIの水準は広尾・様似が同値で最も高く、次に浦河、静内・えりもが同値で続き、三石地区が最も低い水準となった。前年(20.9)比では、16.1ポイント下降した。売上額判断DIは2.3と、前期比23.9ポイント下降した。収益判断DIは△21.4と、前期比28.6ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
請負価格	2.4	14.4	2.4	-14.2
仕入価格	52.4	45.2	42.9	26.2

請負価格判断DIは2.4と前期比12ポイント下降した。仕入価格判断DIは42.9と、前期比2.3ポイントの下降で価格上昇基調を弱めた。前年比では請負価格（前年11.6）は9.2ポイント下降、仕入価格（同65.2）は22.3ポイント下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	-19.0	4.8	-4.8	-26.2
人手状況	-4.8	-16.6	-28.6	0.0

残業時間判断DIは△4.8と前期比9.6ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断DIは△28.6と、前期比12.0ポイント下降し、人手不足感を強めた。

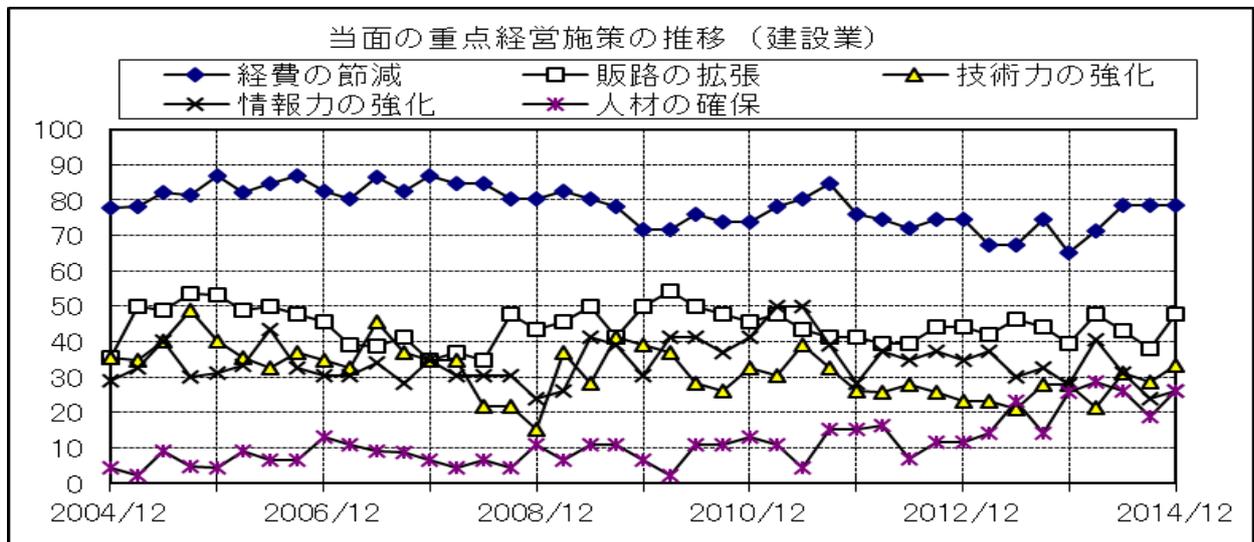
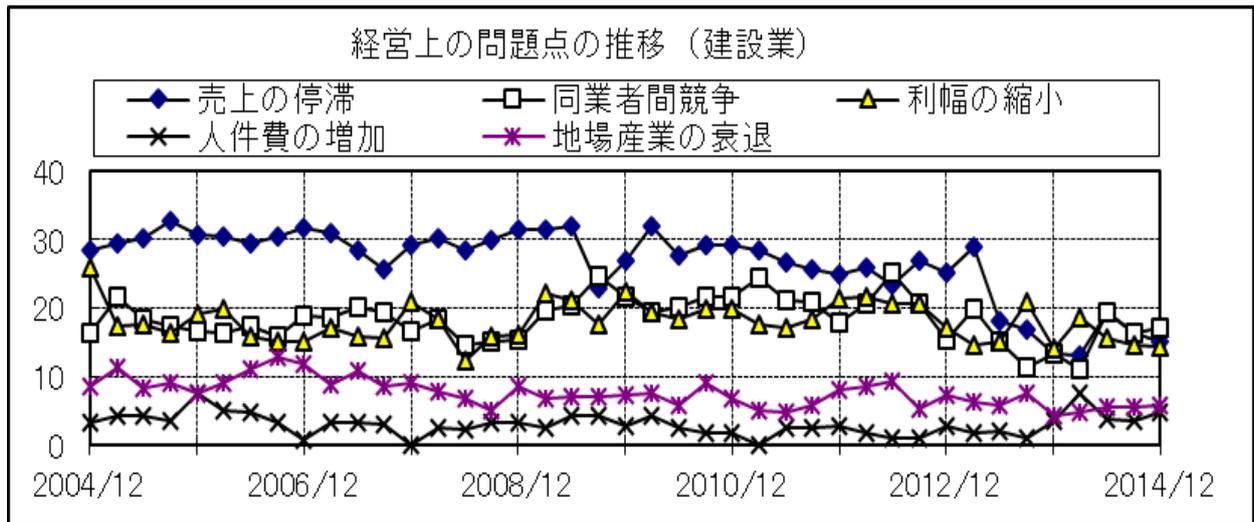
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは△9.5ポイントで、前期比2.4ポイントの下降となった。  
設備投資実施企業割合は26.2%と、前期比9.5ポイント上昇、前期比4社増の11社の実施となった。来期の設備投資は、3社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競争」17.1%、「売上停滞減少」15.2%、「利幅の縮小」が14.3%、「材料価格の上昇」が9.5%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ78.6%、次いで「販路を広げる」47.6%、「技術力を高める」33.3%、「情報力を高める」・「人材の確保」が同率の26.2%で続いている。



## 来期の見通し

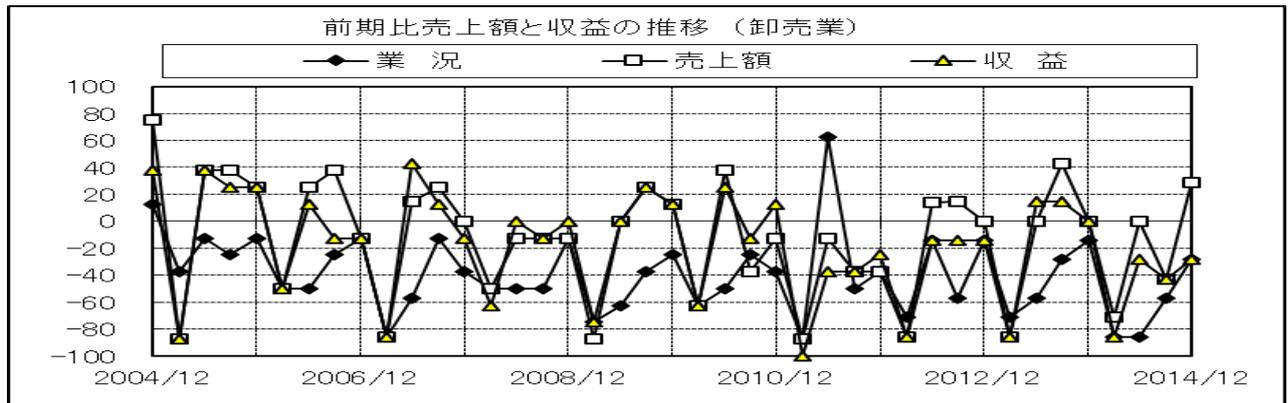
来期の予想業況判断D Iは△30.9と、今期比35.7ポイントの下降を見通している。  
予想売上額判断D Iは△42.9と、今期比45.2ポイントの下降を見通している。  
予想収益判断D Iは△40.5と、今期比19.1ポイントの下降を見通している。  
予想請負価格判断D Iは△14.2と、今期比16.6ポイントの下降を見通している。  
予想仕入価格判断D Iは26.2と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。

# 卸売業 7企業 (回答率 100.0%) の調査結果です

## □ 景況

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
業況	-85.7	-57.2	-28.6	-85.7
売上額	0.0	-42.9	28.6	-71.4
収益	-28.6	-42.9	-28.6	-85.7

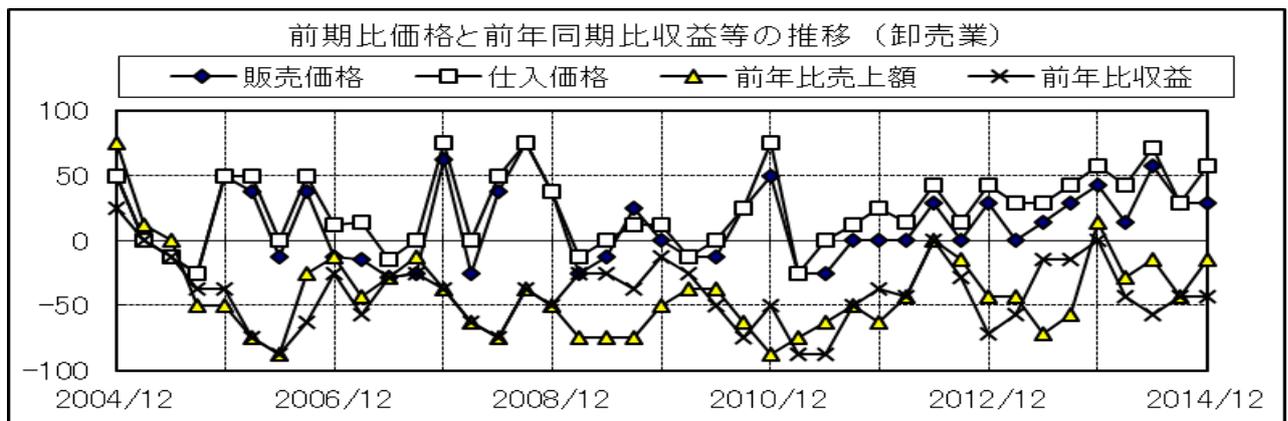
今期の業況判断DIは $\Delta 28.6$ と、前期比28.6ポイントの上昇。地区別の水準は、三石・様似地区は改善、浦河・静内地区が横ばいとなった。前年( $\Delta 14.3$ )比では14.3ポイント下降した。売上判断DIはマイナス水準から28.6へ大きく上昇、収益判断DIはマイナス幅が縮小し $\Delta 28.6$ となった。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
販売価格	57.1	28.6	28.6	-57.2
仕入価格	71.4	28.6	57.2	-28.6

販売価格判断DI 28.6は、前期横ばいの水準となった。仕入価格判断DI 57.2は、前期比28.6ポイント上昇した。業種別にみると、水産は販売・仕入価格ともに上昇。食品は販売価格が下降したが、仕入価格は上昇となった。前年比では、販売価格(前年42.9)は下降、仕入価格(同57.2)は横ばいとなった。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期見通し
残業時間	0.0	-28.6	14.3	-14.3
人手状況	-14.3	0.0	-14.3	14.3

残業時間判断DIはマイナス水準からプラス水準へと42.9ポイント上昇した。  
人手過不足判断DIは前期比14.3ポイント下降し、人手不足感が強まった。

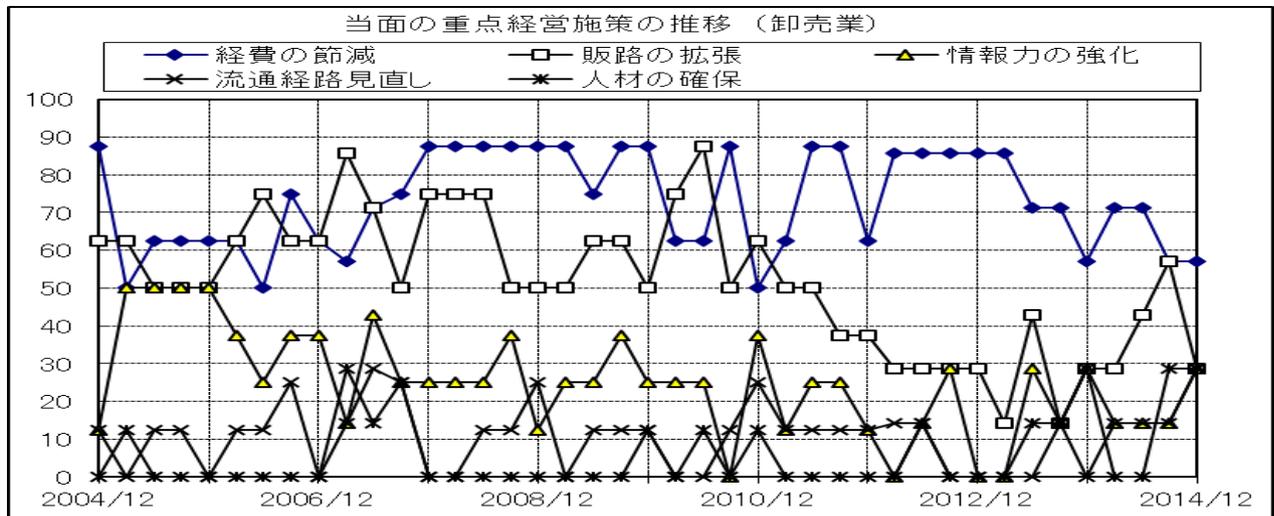
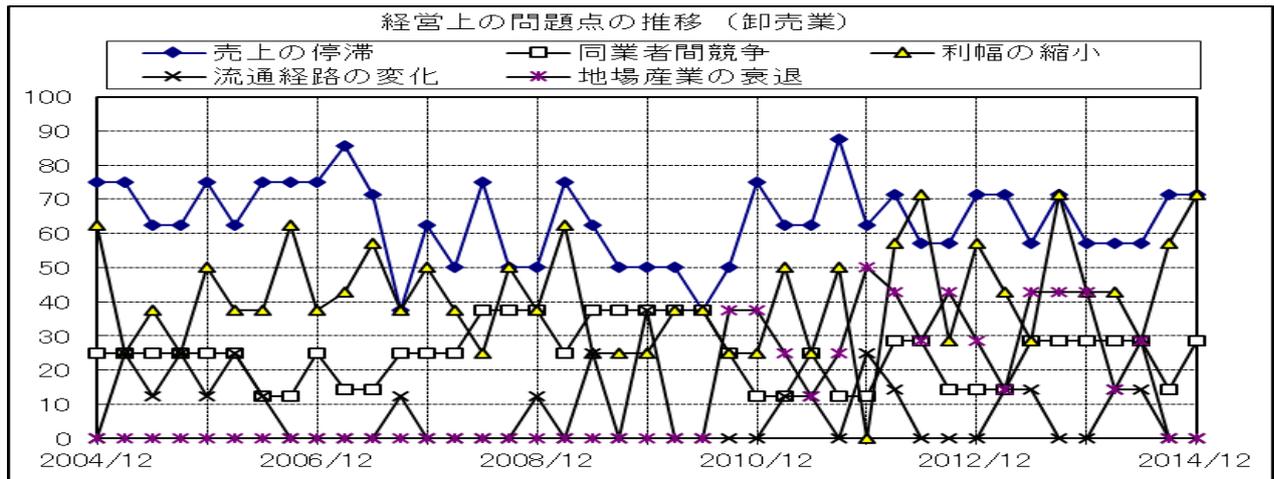
## □ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは、前期に引続きゼロ水準が継続された。投資実施企業は、前期1件に対し3件となった。来期の設備投資の予定もゼロ件となり厳しい状況となった。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」・「利幅の縮小」が同率の71.4%、「同業者との競争」・「諸経費率の増加」・「取引先の減少」が同率の28.6%で続いている。

重点経営施策では、「経費を節減する」をトップに挙げ57.1%、次いで「販路を広げる」・「品揃えを充実する」・「情報力を強化する」・「人材を確保する」・「流通経路を見直す」が同率で28.6%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは $\Delta 85.7$ で、今期比57.1ポイントの大幅な下降を見通している。  
 予想売上額判断D Iは $\Delta 71.4$ で、今期比100.0ポイントの大幅な下降を見通している。  
 予想収益判断D Iは $\Delta 85.7$ で、今期比57.1の大幅な下降を見通している。  
 予想販売価格判断D Iは $\Delta 57.2$ で、今期比85.8ポイントの大幅な下降を見通している。  
 予想仕入価格判断D Iは $\Delta 28.6$ で、今期比85.8ポイントの大幅な下降を見通している。